



さよならSL

久保田久雄氏撮影

【第88回企画展示】

くらしと交通展

—— 酒田港駅80年 ——

開催期日 平成7年12月10日(日)～平成8年2月12日(月)
開館時間 午前9時～午後4時30分
休館日 11月～3月・月曜日(月曜日が休日のときは翌日)
年末年始(12月29日～1月3日)
入館料 大人100円 児童・生徒50円
65歳以上の方と身体障害者の方は無料

酒田市立資料館

酒田市一番町8-16 TEL (0234) 24-6544

開催にあたって

昔の乗り物といえば馬・駕籠・船・人力車などが思い出されます。これらは人々の往来に大切な役目を果たしていました。

明治の文明開化とともに交通手段の様相、とりわけ鉄道の敷設によって、それまでの輸送体系は陸上海上を問わず急速に変化したことは周知のとおりです。

酒田駅ができ、陸羽西線が開通したのが大正3年(1914年)、翌大正4年(1915)、貨物専用の最上川駅(現酒田港駅)が設けられ、今年で80年を迎えました。

長い間の鉄道誘致運動がようやく実を結んだわけですが、反面、江戸以来の西廻り航路がおとろえていったことも事実です。

今回は、酒田港駅80年にちなんで、鉄道をはじめとする交通機関の発達の様子を人々とのくらしのかかわりから企画してみました。

展示にあたって、久保田氏(善宝寺鉄道記念館長)をはじめ交通機関関係各位の大きなご協力をいただきました。厚く御礼を申し上げます。

なお、2階は一部入れ替えての常設展「酒田の歴史と民俗資料展」です。

鉄 道

〈酒田駅〉



① 開業当時の酒田駅(大正3年)
この駅は昭和9年までつづいた。



② 昭和35年新築した現駅舎

〈酒田港駅〉



③ 臨港線最上川駅開通記念(大正4年) 初め、最上川駅と称した。この駅は貨物駅なので客車が入っているのは珍しい。



④ 昭和50年新築された現酒田港駅